

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	群馬県
-------	-----

学校の概要(平成15年4月現在)

学校名	利根郡白沢村立白沢中学校					
学年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	1	2	2	1	6	16
生徒数	26	44	55	3	128	

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本の定着を目指したきめ細かな学習指導の工夫

2. 研究内容と方法

(1) 実施学年・教科

<p>基本的には、全学年を対象に国語・数学・社会・理科・英語の五教科において研究を推進したが、本年度は特に、国語・数学・英語の三教科において、習熟度別あるいはコース別の少人数指導及びTTによる指導を実施した。</p> <p><少人数指導及びTTによる指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学年・国語 説明文や古典などの「読むこと」、作文などの「書くこと」、文法に関する興味・関心や理解度にかかなりの差が見られたため。 ・全学年・数学 問題を解く速さや理解の度合いに大きく差が見られるため。 ・全学年・英語 「読むこと」「書くこと」について大きく差が見られるため。
--

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ</p> <p>基礎・基本の定着を目指した、個に応じたきめ細かな学習指導の工夫 研究の見通し(仮説)</p> <p>一人一人に学習内容を確実に定着させるために、個に応じたきめ細かで多様な指導法や教材開発を行い、計画的に活用すれば、基礎・基本が定着し、生きてはたらく力の育成になるであろう。</p>
--------	--

研究内容・方法

- ・生徒の学力に関する実態把握及び家庭での学習についての実態把握を行いその活用を図る。
- ・学習習慣を定着させるよう工夫と改善を行う。
- ・絶対評価について各教科の評価規準をもとに、具体的な評価方法についての研修を行う。
- ・各教科仮説に基づく授業改善を行う。

【国語】

- ・音読時間を確保した学習指導過程（一時間の指導過程の工夫）
- ・古典分野の指導を重点的に行い、暗唱カードを使用する。本時の内容に入る前に、前時までの範囲を〔個々のスピードで音読したら着席する〕〔一斉読みし、着席する〕〔着席したままで一斉読みをする〕。本時の学習範囲を、〔個人のスピードで制限時間の中で繰り返し音読する〕〔一斉読みをする〕〔隣同士で形式段落ごとに交代して音読する〕
- ・各学年、教科書にある古典の教材を暗唱する。能力に応じた発展学習として、資料集から抜粋した作品を暗唱する。

【社会】

- ・問題解決的な学習過程が設定できる単元の選択・検討を行う。
- ・問題解決的な学習過程を通して、学び方を身に付けさせる。
- ・小単元毎に観点別の評価テストを作成・実施し、その後の学習指導に生かす。

【数学】

- ・誰でも解法が確認できるように工夫した自作プリントの開発と指導過程の工夫
- ・前単元の内容を復習できるように工夫したプリントの作成
- ・基本問題を集めた計算技能テストの工夫

【理科】

- ・身近な材料を使って、個々の生徒が実験・観察をできるような教材の開発と工夫
- ・単元のまとめで補充や発展の課題を設定させたコース別学習の工夫

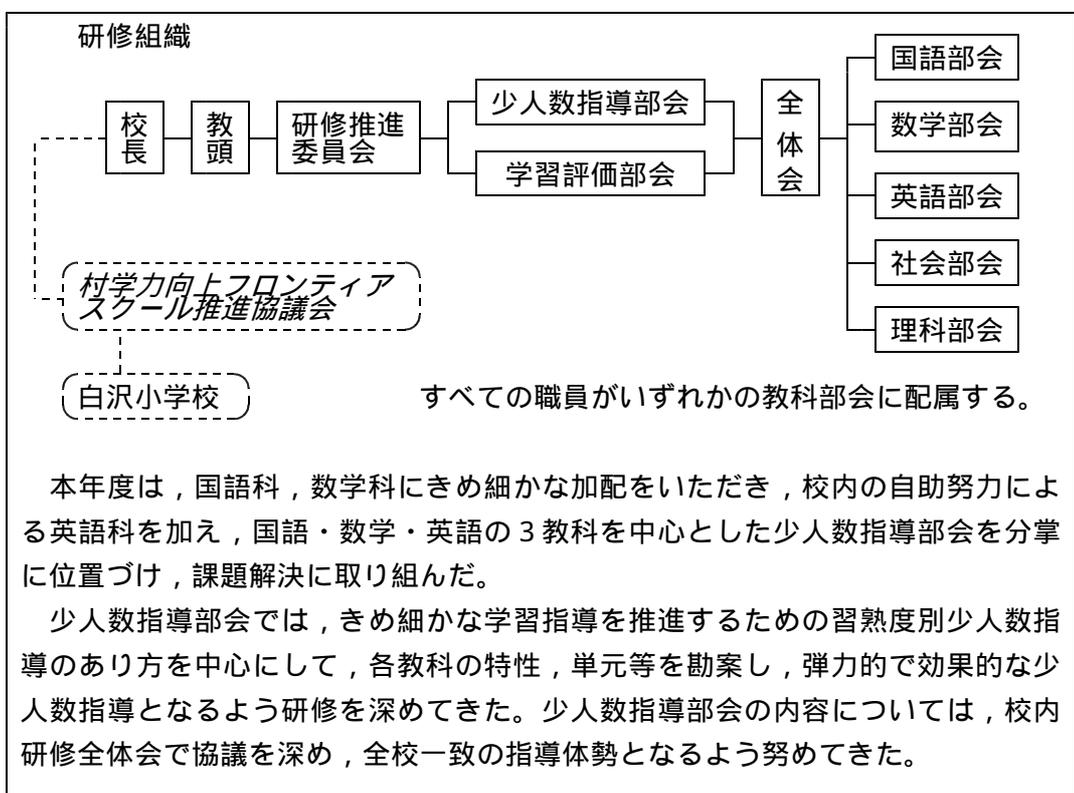
【英語】

- ・少人数指導におけるプリント学習の工夫
- ・言語材料と言語活動の効果的な結びつきの模索
- ・座席表を活用した、評価と指導の改善

平成15年度	<p>テーマ</p> <p>基礎・基本の定着を目指したきめ細かな学習指導の工夫</p> <p>研究の見通し（仮説）</p> <p>学習過程の中で評価を工夫し，補充・発展的学習を指導計画に位置付けた個に応じたきめ細かな学習指導を一層推進すれば，確かな学力が定着するであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本の定着を図るための補充・発展的な指導過程・方法の研修を行う。 ・評価方法の工夫を図る。（指導と評価の一体化・学力の向上が見える評価） ・国語，数学，英語では，より効果的な少人数指導のあり方について指導形態・方法を工夫する。 <p>【国語】効果的な少人数指導の指導形態や指導方法のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の能力差が大きい題材・単元における少人数指導の実施（説明文・古典などの「読む」こと，作文などの「書く」こと，文法） ・一人一人の発表の機会を増やしたい場面，個別指導を行いたい場面における少人数指導の実施 <p>【数学】課題や教材を工夫し，生徒一人一人に基礎・基本の定着を目指した少人数指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の導入とまとめを除き，年間を通じた習熟度別の少人数指導を行う。 ・一人一人の生徒に適した課題を設定する。 ・操作的な活動やパソコンを活用するなど教材を工夫する。 ・生徒一人一人の学習状況を把握し，きめ細かな指導をする。 <p>【英語】実践的なコミュニケーション能力育成のための少人数による指導の展開と工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の能力差が大きい「読むこと」「書くこと」に関する学習場面を中心に，生徒の希望を優先した2コースを設定し，少人数指導を行う。 「ゆっくりコース」…学習事項の理解に不安を覚えている生徒のためのコース 「標準コース」…普通の授業以上に学習を進めたい生徒のためのコース <p>【社会】基礎・基本の定着を目指した学習活動の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> - 問題解決的な学習過程と小単元テストを通して - ・問題解決的な学習過程が可能な単元を選定し，実践する。 ・短い節ごとに観点別ミニテストを作成し，補充的な学習活動を行う。 <p>【理科】個に応じたきめ細かな学習指導の工夫と実践</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料を使った，一人一人の生徒が実験・観察をできるような教材の開発と工夫。 ・単元のまとめでの補充や発展の課題を設定させたコース別学習の工夫。
--------	---

平成16年度	<p>テーマ</p> <p>基礎・基本の定着を目指した，個に応じたきめ細かな学習指導の工夫研究の見通し（仮説）</p> <p>学習過程の中で評価を工夫改善し，習熟度別学習やコース別学習など取り入れた補充・発展的学習により，個に応じたきめ細かな学習指導を推進すれば，一人一人に生きてはたらく力が身につくであろう。</p> <p>研究内容・方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価方法と指導過程の工夫と改善 ・個に応じた学習形態の工夫と研究と改善 ・補充・発展的学習を取り入れた年間指導計画の見直しと実践及び改善
--------	--

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・学習に対する意識調査によって，授業に対する生徒の実態が把握できた。
- ・昨年度の数学における少人数指導及びTT指導の成果を，数学から国語，英語に拡充するため，少人数指導部会を立ち上げ，全体会で共通理解するという研修体制が確立された。

- ・少人数指導に関する輪読会を教職員全員で行い，少人数指導の導入の背景，基本的な考え方，導入方法などについて，基礎研修ができた。
- ・国語，数学，英語の三教科において，本校独自の「少人数指導に関する基本的な考え方」を構築できた。
- ・国語，数学，英語では，2人の教師による習熟度別あるいはコース別の少人数指導及びT T指導を全学年・学級で実施し，より個に応じたきめ細かな授業を行うことができた。
- ・各教科においては，授業実践を通して，教材開発や指導過程の工夫等，生徒一人一人にきめ細かな指導を行う工夫ができた。

2. 今後の課題

- ・少人数指導でのノウハウをさらに各教科の指導の中に生かしていきたい。
- ・各教科で，指導に生かせる評価の確立を目指すために，生徒の姿が具体的に見えるような評価項目・評価方法の改善を図る。
- ・個に応じたきめ細かな指導法の工夫が年間指導計画に位置づけられるようにしていきたい。

学力把握のための学校としての取組

- N R T 学力検査
- ・調査の目的
年度はじめの生徒の学力（思考・判断，技能・表現，知識・理解）について，各教科における到達度の変容を把握し，指導計画に生かすため。
 - ・実施内容
国語・数学・社会・理科・英語の五教科の学習到達度の検査
 - ・実施時期 4月
- C R T 学力検査
- ・調査の目的
年度末における生徒の学力（関心・意欲・態度，思考・判断，技能・表現，知識・理解）の到達度の変容を把握し，昨年度と比較することによって，本年度の実践の成果と課題を検証するため。
 - ・実施内容
国語・数学・社会・理科・英語の五教科の学習意欲と学習到達度の検査
 - ・実施時期 1月

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

公開授業・授業研究会

平成 15 年 10 月 15 日 利根沼田管内各中学校教員ならびに県内フロンティア校教員を招く。 習熟度別（2 コース）の少人数指導のあり方について

- ・国語 単元名 古典を楽しむ「奥のほそ道」 3 年 B 組
- ・数学 単元名 4 章「図形の性質と合同」 2 年 B 組
- ・英語 単元名 unit7「アメリカの学校から」 1 年 A 組

研修視察の受け入れ

- ・平成 15 年 10 月 23 日 千葉県安房教育研究所による視察
授業公開（5 校時の授業すべて）ならびに校内研修の経過説明，質疑応答
Web ページによる公開
- ・アドレス：<http://www.vill.shirasawa.gunma.jp/shirachu/index.htm>
- ・公開内容 研修計画書，公開授業の学習指導案（予定），研究紀要（予定）
研究紀要
- ・白沢小中学校合冊の『学力向上フロンティアスクール研究紀要』を作成し，管内教育委員会ならびに小中学校に配布予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

【新規校・継続校】 15 年度からの新規校 14 年度からの継続校

【学校規模】 3 学級以下 4 ~ 6 学級
 7 ~ 9 学級 10 ~ 12 学級
 13 ~ 15 学級 16 学級以上

【指導体制】 少人数指導 T . T による指導
 その他

【研究教科】 国語 社会 数学 理科
 外国語 音楽 美術 技術・家庭
 保健体育 その他

【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有 無